

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	心理社会的測定法 Psycho-Social Measurement			担当 教員	服部兼敏 (専任)
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	共通科目 研究方法科目	授業形態	講義
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室	情報処理室
授業の目的及びねらい		心理社会的測定法の導入を目的にします。					
授業のキーワード		尺度、調査、多変量解析、テキストマイニング					
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画						
第1回	調査法(アンケート、訪問面接、訪問留置き、郵送、来場者調査、会場アンケート、電話、インターネットなど)						
第2回	調査の企画(調査課題の検討、対象者の選定、調査項目、標本見積り)						
第3回	調査尺度、項目選定、その他の調査設計						
第4回	アンケート票の作成と調査設計(演習)						
第5回	データの集計(母集団の標本、分布、中心傾向、分布)						
第6回	データの探索、検定						
第7回	様々な多変量解析(紹介)、重回帰分析とプロビット分析						
第8回	主成分分析と因子分析の違い						
第9回	数量化Ⅰ類とコンジョイント分析						
第10回	判別分析、ロジスティック回帰分析、数量化Ⅱ類						
第11回	対応分析、数量化Ⅲ類、多次元尺度構成法						
第12回	因子分析とクラスター分析(階層型と非階層型)						
第13回	アソシエーションルールとテキストマイニングの指標						
第14回	調査結果の解析(演習)						
第15回	言語と心理の統計とテキスト・マイニング、ニューラルネットワークと複雑系						
テキスト	酒井 隆(2003) 「図解アンケート調査と統計解析がわかる本」 日本能率協会マネジメントセンター						
参考文献	足立浩平(2006) 多変量データ解析法 心理・教育・社会系のための入門 ナカニシヤ出版 服部兼敏(2010 予定) 看護専門職のためのテキスト・マイニング(仮題) ナカニシヤ出版 金明哲・村上征勝・永田昌明・大津起夫・山西健司(2003) 言語と心理の統計 岩波書店						
成績評価の方法	① 受講試験 前期に受講試験を行います。統計知識が十分でない場合には、予め前期に行う補習を必ず受講していただきます。 ② 授業中に提示するレポート、演習課題のデータ処理 ③ 確率概念を把握した上での調査票の作成、適切な解析法を用いた解析、独創性のあるものはA、概ね適切な調査設計ができていて、適切な解析を行ったものはB、それ以外はC、不適切なものはF						
教員から学生へのメッセージ	調査会社には「解析3年、調査票8年」という格言があります。付け焼刃の方法を用いて役に立たないことを頭に覚えておいてほしいと思います。 具体的な課題・内容については積極的に質問してください。						